

ちよつといし話

～ 極 樂 ～

通称で極樂と云うは極樂浄土の事です。先月は極樂に行ける様に精進しましょう。と言う話をしました。では極樂とは何ぞや。それはどうしても抽象論になりやすい。が勘弁してください。と言うのも一部の人を除いて、ほとんどの人が極樂を見る事が出来ないからです。ちなみに浄土宗祖法然上人は極樂の莊嚴見るぞうれしき、と申されました。お經には、遙か西方の彼方に極樂はあり、その中心に阿弥陀様がおみえになり、その身体は黄金に輝き、現に今、説法をしてみえる、とあります。また、その佛国は恢廓かいかく廣大にして、変異衰滅なく、四時春夏秋冬の別なし、不寒不熱にして常和調適えいまんなり、蓮華は多種の光を放ち、池には八功德水が盈満えいまんし、味は甘露あまねくなり。池の岸上には梅檀せんだんの樹があり、香氣あまねく普薫ず、とある、実にすばらしい世界です。しかし現代では失礼かと思える事もあります。譬えば、彼の國（極樂）に女人あることなく、女人往生すれば皆變じて男子と成る、とあります。女人禁制を布いている様に見えますがこれは違います。極樂には六道輪廻が無いからです。現世は相続の爲に男女あり、子孫の爲には必ず亡くなった夫婦を一本の位牌にお祀りし、供養しなくてははいけません。極樂へ行こうと願いを起こした人はまず自分自身の行動に責任を持つのは当然の事です。何故かと言いますと、それは六道の輪廻転生から離れる爲です。第29号、35号、参照。行動は八正道（第34号参照）に従ってください。

念佛威力皆消滅 命終決定生極樂

善入院油掛地藏尊